

7/11(月)

# 朝日新聞



1970年代から80年代にかけてお茶の間を彩った人気番組が30年ぶりにかえってくる。BSフジが16日夜7時から放送する「復活！オールスター家族対抗歌合戦」だ。  
72年から86年まで、日曜夜8時に放送されていた「オールス

## フォーカスオン!

### 復活！オールスター家族対抗歌合戦 BSフジ 16日夜7時

## 家族の価値問う機会に

「オールスター家族対抗歌合戦」。芸能人などが家族と一緒に出演し、歌を披露した。司会萩本欽一の巧みなトークもあって、人気番組に。28%台の高視聴率を記録したこともある。

今回の司会は、父の東八郎と一緒に出演した経験があり、萩本欽一の弟子でもある東貴博、写真右端。他にも、アントニオ古賀の一家や、審査員の橋幸夫、ジュームス三木、榊原郁恵ら番組経験者がそろう。これにテツandトモの一家や尾木直樹など新たな面々が加わる。

プロデューサーの浜口哲夫(71)は、当時もこの番組の担当だった。なぜいま復活なのかとの問いに「家族の価値を見直す機会にしたい」。現在はフジテレビ専任顧問だが、自ら企画を

持ち込んだという。

家族もテレビもあり方は変わったが、フォーマットは当時のままで、セットも昭和感たっぷり。それでも、欽ちゃんがこの番組をきっかけに発見したとされる「素人のおもしろさ」は、色あせていない。

緊張や気負いから生み出される笑いはもちろん、カメラを向けられた「普通の人」ならではの計算を超えた爆発力を、東が欽ちゃんから引き継いだツッコミで十分に引き出している。審査員とのかけあいも楽しい。

しくじってもいじられてもスツジョにあたたかさがあふれ、笑いだけでなく涙まで誘うのはやはり「家族」だからか。お茶の間のだんらんが復活する夜になるといい。  
(滝沢文那)